

2001年11月28日

政管健保、社会保険病院への貢ぎの構造を示唆してくれた厚労省

日医総研 前田由美子

「政府管掌健康保険の固定資産が社会保険病院に無償貸与されている実態」

これは2001年11月21日に、自民党の医療基本問題調査会と厚生労働部会との合同会議で、指摘されたものである。一部専門紙でも報道された。政管健保は社会保険病院に固定資産(土地や建物)をタダで買い与えている。にもかかわらず、財政が逼迫しているとして保険料や給付の見直しを進めるのはおかしい、というのだ。

なぜ、この時期、社会保険病院が注目を集めるようになったのだろうか。そして本当のところはどうなのだろうか。

10月30日、自民党の有志、厚生労働省、日本医師会の三者で、政管健保の財政実態についての勉強会がもたれていた。その場で議論になったことのひとつは、「政管健保は破綻の危機にあるのかどうか」という点だ。厚労省は、今にも破綻するといっているが、財務省の貸借対照表を見ると正味財産が8,564億円ある。過去の借金が1兆4,792億円あるが、借金も利息も一般会計から補てんされるというので、これが返ってくると正味財産は2兆円を超える。国民に「痛み」を押し付ける前に、これだけの財産を売り払えばいいじゃないか、というのが一般市民の私の感覚である。

そこで、まずは正味財産の実態を・・・と臨んだわけだが、そこにいたのが厚労省の審議官。彼の第一声は、「破綻の定義はなんなんだ！」。

ここは、用語解説の場であったかと思いつつ(しかし、改革の期限が迫っているというのに用語の再定義をしなければならないとは)、一般市民の私としては、まず身の回りから考える。貯金を下ろして、家財を売って、古着も売って(残念ながら土地はない)それでスッテンテンになったら破綻だろう、と。

審議官いわく「県庁の建物なんかも売れというのか」。うむ、売ってもいいんじゃないだろうか、売れるのなら。ところが、お役所の理屈は違うらしい。県庁を売っては政治が成り立たない、そういうことはできないので、政管健保ではそれ以前の状態を「破綻」というのだと。

政管健保がどのくらいの「破綻」状態にあるのかは、この後もねちねちと説明中であ

るが、ここで注目していただきたいのは、審議官の発言（失言ともいう）だ。審議官は「県庁なんかも売れというのか」と仰っている。ということは、政管健保にも、実は売り払うことのできる県庁みたいなものがあるのではないだろうか。県庁もどきを売却していただければ、政管健保もひと息もふた息もつけるはずだ。こうして政管健保の“県庁”さがしが始まった。

財産は「貸借対照表」に載っている（図表1）。“県庁”もどきは固定資産の部分で、1999年度末で6,886億円となっている。この中には、どんな土地や建物があるのだろうか。売却候補はあるのだろうか。社会保険庁が作成して、政府の検討等に供している資料を引っ張りだしてみた。ご丁寧にも「固定資産は社会保険病院等」とある。

図表1. 政管健保の貸借対照表

金額単位：億円

	97年度 H9	98年度 H10	99年度 H11
現預金	7,276	7,324	8,231
未収保険料	1,203	1,357	1,516
その他未収金	51	50	53
流動資産	8,529	8,731	9,800
土地・立木竹	1,754	1,792	1,803
建物・工作物	3,073	3,803	3,945
機械器具その他	1,535	1,034	1,139
固定資産	6,361	6,629	6,886
繰越損失	9,107	8,472	8,087
資産	23,997	23,832	24,774
流動負債	1,295	1,330	1,417
昭和48年度末歳入不足補てん債務借入金	5,765	5,765	5,765
旧日雇健康勘定に係る歳入不足補てん債務借入金	9,027	9,027	9,027
固定負債（累積債務）	14,792	14,792	14,792
負債	16,087	16,122	16,210
事業運営安定資金残高	6,812	7,425	7,464
本年度利益	1,098	285	1,100
資本	7,911	7,710	8,564
資本・負債	23,997	23,832	24,774

社会保険病院は全国に 53 施設、診療所は 4 施設ある¹。政管健保はこれらの社会保険病院の土地や建物を買ってあげているのだ。しかし、これだけなら美味しい話かもしれない。社会保険病院でどんどん稼いで、政管健保に賃借料を払ってくればいいのだ。しかし、政管健保がそういう商売をしているという話は聞いたことがない。さあ、実態はどうなのだろう。

今度は、政管健保と社会保険病院との関係を追いかけた。

社会保険庁の回答はこうである。政管健保を管理する社会保険庁は、社会保険病院の土地や建物を購入している。社会保険病院の土地や建物は、国有財産となっている。「じゃあ、社会保険病院で利益があがったら社会保険庁に（賃借料などの形で）収入はあるのか」と重ねて聞くと、答えは「ない、と思う」（管轄官庁が“思う”というのも情けない話だ。“思う”じゃなくて、“ない”ことはその後判明済み。）

なんと、政管健保では、収入のほとんどが保険料と国庫補助金であるにもかかわらず、社会保険病院にせっせと土地や建物を買って与え、タダで貸しているのである。これが民間企業なら子会社への贈与で引っ張られているか、株主に訴訟でも起こされるかだ。ところが、社会保険庁（政管健保）から社会保険病院のタダ貸しはお咎めなし。普段なら、法律を盾にとられるところだが、この件については法律もない！社会保険庁長官と社会保険病院の元締め（全国社会保険協会連合会会長）が「社会保険病院、診療所、介護老人保健施設及び看護専門学校経営委託契約書」を交わしているだけである。

しかも、社会保険病院へのタダ貸しはハンパな金額ではない。いったいいくらになるのか。これには、社会保険庁の「国有財産となっている」がヒントになった。国有財産については財務省が 1 件 1 件、その情報を公表している。（国有財産公開システム <http://www.kokuyuzaisan.go.jp/kokuyu/pc/DOWNLOAD/download.html>）1 件 1 件というのが頭の痛いところだが、厚生労働省、厚生保険特別会計、社会保険病院をキーワードに資産を抜き出してみた。なんとその数約 150 件、土地・建物の総額は抜き出せたものだけで **4,500 億円**。政管健保の固定資産 6,886 億円のうちの 4,500 億円である。政管健保の固定資産の“お買い物”は、ほとんど社会保険病院のためにあったとってよい。

それだけではない。政管健保の固定資産は過去 2 年間で、525 億円も増えている（図表 1）。社会保険病院のために“お買い物”をしなければ、この分、まるまる現預金が増えたはず。赤字、赤字といいながら何というていたらしく。早い話、“お買い物”はやめられない。やめられないからお金が足りなくなった、国民にせびるというわけだ。

¹ 全社連に経営委託されているもののみ。このほか、社会保険病院には市町村に委託されている病院（例：広島中央病院）や社会福祉法人（例：小倉記念病院）に委託されているものもある。

「県庁のように」とはいわないが、社会保険病院は売却、民営化してもいいと思う。全部売れたとしてみよう。売却価格は（わかっているもの、そのままで）4,500 億円。政管健保には 1999 年度末で 8,231 億円のキャッシュ（現預金）があるから、4,500 億円が入ると、キャッシュは 1 兆 3,000 億円近くにもなる。

まったく、なぜ政管健保が社会保険病院に固執する必要があるのだろうか。客観的に見ると、政管健保（これを運営している社会保険庁）が社会保険病院に対して頭が上がらないように見える。

社会保険庁さらには厚生労働省から見ると、社会保険病院がありがたい天下り先になっているのではないだろうか。

社会保険病院の経営をしているのは全国社会保険協会連合会（以下、全社連）。全社連の会長は永野健元日経連会長。理事長は幸田正孝。厚生事務次官から年金福祉事業団理事長を経て現職にある。案の定、正真正銘の天下り先になっている。

さあ、ここまで見てくると、社会保険病院がいい目を見ているのは明らかだ。社会保険病院は、土地も建物もタダ借り。自前で調達するのは医療機器くらいなので、設備に関する経費（減価償却費）は売上高に対して 2% しかかかっていない。法人立の民間病院の平均 4% に比べて半分だ。土地の地代もいらぬし、借金をして建物を建てることもないので金利もない。

賃借料をとったらどうだろう。賃借料は減価償却費に金利を乗せた分をとる（借金をして土地・建物を買ったようなものだ）。仮にすべての土地・建物を 30 年借りて、30 年で使い倒すとしよう。世の中の住宅事情なみに計算すると、年平均 230 億円の賃借料をもらわなければならない。これだけの金額が、社会保険病院ではお目こぼしになっている。だから、社会保険病院は、当然もうかる。もうかった分はどうなるか。人件費を見てみよう。法人立の民間病院で 1 人当たり人件費が 4.6 百万円であるのに対し、社会保険病院の 1 人当たり人件費は 7.9 百万円。なんともうらやましい（本音としてはあきれ）話だ。

保険料や国庫補助金でこういうことをして許されるのだろうか。そしてまた給付割合を見直し、保険料を引き上げようとする見とは。何を差し置いても改革しなければならないのは、厚労省と天下り団体の癒着の構造なのである。そうでもないのにどこが「構造改革」なのだろうか。